

令和7年度

さいたま市立岩槻中学校だより

12月号

(令和7年12月1日発行)



槻の若木

〒339-0054 岩槻区仲町1-14-35

電話：048-756-0254

FAX：048-758-7483

HP：<http://iwatsuki-j.saitama-city.ed.jp>

Mail：iwatsuki-j@saitama-city.ed.jp



『いちばん大切なこと』

校長 金子 宜史 たかし

普段学校の門は、安全対策上閉めておりますが、私が出張から学校に戻ってきた際、ひとりの生徒が私に気づき、正門の扉を内側から開けてくれました。私も一度車外に出て、その生徒にお礼を伝え、運転席に戻り、車を正門の中に車を進め、さあ門を閉めようと車外に出ようとする、その生徒が門を閉めはじめてくれました。生徒本人にすれば、何気ない自然な行動なのかもしれませんが、相手を気遣い、行動として実行できる生徒に大変感心しました。車から降りて感謝を伝えましたが、その受け答えも実に立派でした。子どもは、親の背中を見て育つと言われますが、正門を開閉してくれた生徒の行動は、普段の保護者の行動をよく見ているのでしょう。心温まる一日となりました。ありがとうございました。

師走を迎え、今年も残すところあとわずかとなりました。朝夕の冷え込みが厳しくなり、冬の訪れを肌で感じる季節となりました。生徒の皆さんにとっては、期末テストや三者面談、提出物など、慌ただしい日々となっておりますが、この2学期を振り返ると、行事や日々の学習、部活動など、様々な場面で生徒の皆さんが力を発揮し、成長する姿をたくさん見ることができました。特に、若木祭や合唱祭では、仲間と協力し合いながら一つの目標に向かって取り組む姿が印象的でした。とても素晴らしい行事となりました。

12月は、次の学年への準備を始める大切な時期でもありますし、新しい年を迎えるにあたり、自分の生活や目標を見つめ直し、新たな気持ちでスタートを切っていく月です。

次の言葉は、アメリカの教育学者、ドロシー・ロー・ノルト博士が来日した際に子どもたちへ贈った言葉です。小学生に向けた言葉だそうですが、中学生の皆さんにとっては、「いちばん大切なこと」の意味を自分に置き換え振り返ることができる、実は深い言葉だと思います。是非ご家庭でも話題にいただけたらと思います。

- 1「順番を守ること」
- 2「自分の役割を果たすこと」
- 3「人の役に立つこと」
- 4「やると言ったことはやること」
- 5「人といっしょにいる時間を大切にすること」
- 6「ルールを守ること」
- 7「自分にできることだけを約束すること」
- 8「やり始めたことは最後までやり遂げること」
- 9「本当のことを話すこと」
- 10「家族を思う気持ちを伝えること」
- 11「間違いや失敗から学ぶこと」
- 12「人の過ちは許してあげること」
- 13「正しいことをすること」
- 14「自分の体を大事にして体によいことを実行すること」
- 15「最高の自分になるためのことは惜しまずやること」
- 16「自然の美しい世界をしっかりと見つめること」

『いちばん大切なこと』より 作：ドロシー・ロー・ノルト



色鮮やかな中庭のイチヨウ

保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。寒さ厳しくなりますが、どうぞご自愛ください。

来年も、皆様にとって実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

【御礼】11月1日(土)に行われたPTAバザー「WAKAGI FESTA 2025」では、地域の方々や子どもたちが多数参加し大盛況でした。品物等を提供してくださいました皆様ありがとうございました。また、運営に携わって頂きましたPTA会長様・役員の皆様ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

【御礼】学校評価へのご協力ありがとうございました。結果がまとまりましたらお知らせいたします。

【お知らせ】1月6日(火)は、「岩中竹束チャレンジスクール」を開催します。冬休みの宿題をやりに来て大丈夫です。「宿題チャンス」です。詳しくは、学校地域連携コーディネーターの飯島先生まで!!